

令和8年度 戸田市立戸田第二小学校業務量管理・健康確保措置実施計画  
(戸田第二小学校における働き方改革について)

1 現状

- ・令和7年4月～令和8年3月の本校の教職員の時間外在校等時間の平均 21時間26分
- ・令和7年度時間外在校等時間が360時間を超す教職員の割合 22.2%
- ・ストレスチェックの「総合した健康リスク」:105(全国平均:100)

2 目標

- ・全ての教職員が時間外在校等時間 月45時間以内、年360時間以内
- ・全ての教職員にとって、働きがいがあり働きやすい職場を目指す

3 具体策

(1)業務量管理について

- ・勤務時間の「見える化」と上限管理

在校等時間を客観的に把握し、長時間勤務が常態化している職員の業務改善を組織的に行う。

- ・行事・会議の精選

行事やその準備、印刷物の削減を図るとともに、会議の回数・時間の縮減やペーパーレス化を一層推進する。

- ・校務の効率化(DX・TXの推進)

校務支援システムの活用及びICT機器の活用により、授業準備や事務作業の時間を削減する。

- ・余白創出のための日課表見直し

余剰時数の抑制や日課表の検討により、教職員が児童と向き合う時間や教材研究の時間を確保する。

(2)健康確保措置について

- ・相談体制の確立と面談の実施

管理職による定期・臨時的面談の実施や健康管理医による面接相談の機会を設定する。

- ・定時退勤デーの設定

毎月21日を定時退勤デーとする。

- ・休暇等の確実な取得

週休日の振替、各種休暇取得を促進する。

(3)その他

- ・保護者・地域の理解促進

学校運営協議会において本校の働き方改革の計画を共有し、学校閉庁日の設定や留守番電話の活用等について理解と協力を得る。